天の川のほとりを歩いた（30分）

伊藤貴晴　作

【登場人物】

天ノ川歩（あまのがわあゆみ）

御影石満（みかげいしみちる）

星乃森蛍（ほしのもりほたる）

東山光（ひがしやまひかり）

冬月風花（ふゆつきふうか）

連城蓮華（れんじょうれんげ）

最上川百恵（もがみがわももえ）

中山道夏子（なかせんどうなつこ）

カササギ

墓守

【０】

 music;「"あのヒーローと"僕らについて-instrumental-」メレンゲ

 おはよう　こんにちは

 こんばんは　おやすみなさい

 はじめまして　ひさしぶり

 さようなら　また明日

 人の出会いは一期一会で

 あなたと私は一蓮托生

 そうじゃないかも前言撤回

 私の世界は五里霧中

 夢中になってることがあったり

 無限に続く時間があったり

 でもこの一瞬は取り返せない

 突然始まる白昼夢

 たとえば兎を追いかけて

 辿り着くのは桃源郷で

 天の川のほとりを歩いて

 銀河鉄道　出発進行

 今日も世界はくるくる回って

 宇宙はどんどん膨らんでいて

 私達は加速していて

 どこまで行くの？　どこまで行けるの？

 走って転んで泣いて立ち上がる

 歩き続ける歩みは止めない

 悩んで迷って大人になって

 変わらないけど変わり続ける

 スローモーションで越えていく

 大人と子供の境界線

 ストップモーションで振り返る

 私が幸せだった頃

 奇妙奇天烈　奇々怪々

 相対性理論　進化論

 夢と理想と科学を武器に

 私達は加速していく

【１】

 満、登場。

満 私達が住んでる町には結構大きい川が流れてて、その川は天の川って呼ばれてる。その天の川のほとりにはお墓がたくさんあって、川沿いにお墓がずっと続いてる。お墓には墓守っていう人達がいて、誰かのお墓の前で歌ったり踊ったり、それからお墓を作ったりしてる。文明が進んで、いろんなこと忘れても、死んだ人を弔うことと、祈ることは忘れないと思う。だから今もお墓は増え続けてる

 墓守たちが満につきまとう。

墓守 墓はいらんかね

墓守 墓はいらんかね

満 うるさい

墓守 安くしとくよ

墓守 いい墓だよ

満 うるさい

墓守 死んだ後に残るのは骨だけだよ

墓守 死んだ後に残るのは墓だけだよ

満 うるさい

墓守 人生は儚いもんだ

墓守 墓がないことを儚いと言う

満 うるさい

墓守 人生は儚くても

墓守 墓は永遠に残る

墓守 人生は儚くても

墓守 墓があれば幸せ

墓守 墓はいらんかね

墓守 墓はいらんかね

墓守 安くしとくよ

墓守 いい墓だよ

満 うるさい、消えろ

 墓守たちは消える。

満 私、何してるんだったっけ

 カササギ、登場。

カササギ 歩いてるんでしょ

満 え？

カササギ だって、ほら、歩いてるんでしょ？

満 ああ、うん

カササギ ね

満 え、何で歩いてるの？

カササギ 知らない

満 何してたんだったっけ？

カササギ 覚えてないの？

満 覚えてないことはないよ

カササギ じゃあ思い出してよ

満 うん

カササギ 何してたの？

満 お墓参りに行った

カササギ 誰の？

満 お母さん

カササギ うん

満 でも、お母さんのお墓、本当はここにはない

カササギ うん

満 お母さんのお墓に行こうと思って、で

カササギ で？

満 歩がいた

 歩、登場。

 カササギ、退場。

歩 満

満 歩

歩 何してるの？

満 そっちこそ

歩 歩いてるの

満 それは見たら分かるけど

歩 じゃあ聞かないでよ

満 どこに行くの？

歩 どこに行くと思う？

満 分からない

 歩は満に耳打ちしようとする。

満 え？　何？　ちょっと、誰もいないんだから大きい声で言えばいいでしょ

歩 いいから

満 くすぐったいよ

歩 我慢してよ

満 何？　海？　歩、海に行くの？

歩 うん

満 何恥ずかしがってるの？　海なんかどうやって行くの？

歩 歩いて

満 バカじゃないの

歩 何で？　川は海に流れるんだから、川沿いに歩いて行ったらいつか海に着くでしょ

満 いつかね

歩 ほら、完璧

満 あのさ、海がどれだけ遠いか分かってるの？

歩 どれだけ遠いの？

満 知らない

歩 ほら、だから行ってみようって思って

満 無謀でしょ

歩 私、海見たことないから

満 私あるから

歩 ずるい

満 ずるくない

歩 満って引っ越して来たんだったね。どっから来たの？

満 海が見えるとこ

歩 いいなあ

満 この先だよ

歩 え？

満 この先、この川沿いに私の生まれた町がある

歩 そっか。このまま行ったら満の町に行けるんだ

満 やめなよ

歩 え？

満 そんな所行ってどうするの？

歩 どうもしないけど。行きたい

満 何で？

歩 理由はないよ

満 は？

歩 何かしたい時に理由っているの？

満 知らない

歩 私は何でもこの目で見たい。自分で体験したい

満 勝手にしたら

歩 そうする

 蛍、登場。

 二人を写真に撮る。

蛍 ツーショットいただきました

満 蛍

歩 何してるの？

蛍 心配して来てあげたのに、その言い方はないんじゃない？

歩 ごめん

蛍 満、何してたの？

満 お墓参り

蛍 夜に？

満 うん

蛍 肝試しだね

満 違うけど

歩 蛍、全然怖くなさそうだね

蛍 え？　何が怖いの？

歩 肝試しだって

蛍 うん、全然怖くない

歩 満は？

満 何が怖いの？

歩 何で女子三人いて誰も怖がってないの？

満 だったら自分が怖がれよ

歩 だって別に怖くないもん

蛍 あーでもさ、怖い時あるよ。カメラに写るの

歩 マジ？

蛍 マジ。特にお墓はね

歩 やってみよ

満 お墓で遊んでると墓守に怒られるよ

歩 墓守？

蛍 墓守か

満 さっきもいた

歩 墓守って何なんだろうね

蛍 よく分からない

満 最近増えてるでしょ、お墓を守る活動

歩 あれって仕事なの？

満 知らない

蛍 社会運動？

歩 デモ？

満 ボランティア？

蛍 宗教団体？

歩 そういう感じか

蛍 どういう感じか全然分からないんだけど

満 お墓も増えてるんだって

歩 そうだね

満 この川沿いずっとお墓でしょ

歩 知ってる？　この川、天の川って言うんだよ

満 知ってるよ。私の町にもあったもん

歩 私と同じ名前。天ノ川歩

蛍 その天ノ川歩はどこへ行こうとしてるの？

歩 海へ行こうと思ってます

蛍 歩いて？

歩 そう

蛍 バカじゃないの

歩 何でよ

満 それさっき私も言った

蛍 歩いて海なんか行けるわけないじゃん

歩 行けるよ。大丈夫。行こう

満 え？

蛍 私達も行くの？

歩 だから来たんでしょ？

満 私はお墓参りに来ただけだよ

歩 「夜は短し歩けよ乙女」。さあ行こう

満 何それ？

歩 昔そういう小説があったんだって

蛍 歩ってそういう余計なことばっかり知ってるよね

歩 余計なことって何？

満 昔のこととか、古臭いこと

歩 昔のことバカにしないで

蛍 分かった分かった

満 本当に行くの？

歩 うん。天の川のほとりを歩くの

【２】

 全員登場。音楽に合わせて歩く。

歩 私達が住んでる町には結構大きい川が流れてて、その川は天の川って呼ばれてる。だから私の町には上にも下にも天の川がある。夜空にある天の川はどこへ流れて行くんだろう。逆さになったら、空と地面がひっくり返る。手が届きそうな星の海は、本当はものすごく遠くにあるらしい。私の名前は天ノ川歩。私はこの町で生まれて、この町で育って、きっとこの町から出ることはなくて、この町で死んでいく。それが当たり前だと思ってたし、別に不満があるわけでもなかった。でも、それが当たり前じゃないってことに気付いてしまった

 歩・満・蛍を残して全員退場。

満 気付いてしまったら何なの？

歩 え？

満 当たり前じゃないことに気付いてしまったら、どうなの？

歩 どうなんだろう

蛍 どうなんだろうって、自分で言ったんでしょ

歩 だって変でしょ、世の中

満 変だね

蛍 そりゃ変だよね

歩 何でこんなに不自由なの？

満 別にそうでもないよ

歩 そうだよ。だって町の外に行けないんだよ

満 別に行かなくてもいいんじゃない？

歩 満は町の外から来たからそういうこと言えるんじゃないの？

満 そんなことないよ

蛍 満の住んでたとこってどういう所なの？

満 普通。ここと変わらない

歩 それだと分からないよ

満 あ、海があるよ

歩 それ。海見たことない

蛍 映像は見たことあるでしょ？

歩 映像なんかダメだよ。自分で見なきゃダメなの

満 何がダメなの

歩 あと、電車に乗りたい、電車

蛍 路面電車があるでしょ

歩 あんなの同じとこぐるぐるしてるだけでしょ。つまんないよ

満 歩はおもしろいかどうかで物事を判断してるの？

歩 うん。もっと速くて遠くに行くのがいい

満 歩ってわがままだね

蛍 そうだよ。知らなかった？

満 買い物だって自由にできるし、路面電車もあるし、十分便利だと思うけどな

歩 つまんないよ。毎日つまんない。毎日つまんないと思いながら毎日歩いてさ、毎日歩いて毎日学校に行ったりしてさ、登校中にクラスメイトに会ったりしてさ

 登校中の回想。

 光、登場。

光 おはよう

歩 光、おはよう

満 おはよう

蛍 おはよう

光 今日もいい天気だね。あーアスファルトボコボコ

歩 それ毎日言ってる

満 車が走らない道は放置されてるでしょ

蛍 うん。トラックは大きい道しか通らないから

 風花、登場。

風花 おはよう

歩 風花、おはよう

風花 お腹空いたな

蛍 風花そればっかり。朝ご飯食べたの？

風花 食べたよ。食べなきゃ死んじゃうよ

蛍 そうだね

 蓮華・百恵、登場。

蓮華 おはよう

歩 蓮華、おはよう

百恵 おはよう

蛍 百恵、おはよう

光 ゲームしよう

風花 いきなりだね

蓮華 何するの？

光 七文字の言葉を言っていくゲーム。私から。目覚まし時計

風花 ぶっかけうどん

蓮華 アイスクリーム

百恵 北斗七星

歩 電話番号

満 デジタルカメラ

蛍 浦島太郎

光 一寸法師

風花 赤ずきんちゃん

蓮華 ちゃんってありなの？

光 ありじゃない？

蛍 いいと思うよ

蓮華 えー、そう？

風花 赤ずきんちゃんって言うでしょ

百恵 言うね

蓮華 そうかな

光 次、蓮華だよ

蓮華 エビフライちゃん

光 それはダメでしょ

蓮華 何で？

光 何でじゃなくてさ

蓮華 ちゃんはありじゃないの？

光 エビフライにちゃん付けないでしょ

蓮華 あめにはちゃん付けるでしょ

風花 あめちゃんはあめちゃんでしょ

光 やり直し

蓮華 こたつでアイス

光 ダメ

蓮華 いいでしょ、食べさせてよ、こたつでアイス

風花 こたつでアイス食べたい

百恵 勝手に食えよ

光 ほら、蓮華

蓮華 カップラーメン

百恵 サッカーボール

歩 スケッチブック

満 金魚すくい

蛍 ツタンカーメン

光 てるてるぼうず

風花 水玉模様

蓮華 ジグソーパズル

百恵 ラジオ体操

歩 ……

 夏子、登場。

夏子 ちょっと、何で私だけ仲間外れなの？

光 夏子

風花 別に仲間外れになんかしてないよ

蓮華 夏子がいないからでしょ

百恵 自業自得でしょ

夏子 みんな冷たい。私も入れて

風花 嫌だ

夏子 何で？

 回想、終わり。光たち、がやがやしながら退場。

歩 っていう感じで楽しい毎日を過ごしてます

満 それで何が言いたいの？

歩 私には友達がいて幸せってこと？

蛍 何それ

満 今が幸せならいいんじゃないの？

歩 それとこれとは話が違う

満 勝手な奴

歩 決められたレールを進むなんてつまんないよ。本当は三六〇度どこにだって行けるんだから

蛍 それでよく迷子になるでしょ

満 歩、迷子になるの？

蛍 ひどいよ。いつの間にかいなくなってて、誰も知らない所にいるの

歩 探検したくなるの

満 集団行動ちゃんとしなきゃ

歩 ほんのちょっとのつもりなんだけどね。つい

蛍 私がいっつも捜しに行くんだから

歩 蛍はちゃんと見つけてくれるよね

蛍 見つけないと困るでしょ

満 よく見つかるね

蛍 勘だね

歩 愛の力だよね

蛍 歩は反省しなさい

満 今日は何で迷子だって分かったの？

歩 迷子じゃないよ

蛍 だって今日、七夕でしょ。イベントの日は何かしでかすから

満 そっか。あ

歩 何？

満 墓守がいる

歩 あ、本当だ

蛍 隠れよう

 三人、退場。

 墓守たち、登場。歌う。

 music;「心細い時にうたう歌」タテタカコ

 寂しい　寂しい

 僕だけ　寂しい

 身体いっぱい匂わして暮らしてた

 苦しい　苦しい

 僕だけ　苦しい

 世界一の不幸を背負っていた

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 墓守たち、退場。

 三人、登場。

歩 何かちょっと不気味だよね

蛍 不思議な人たち

満 あんまり関わらない方がいいよ

 三人、退場。

【３】

 光・蓮華・百恵・夏子、登場。

夏子 ねえ、みんな、ねえ、みんな、ねえ

風花 夏子

光 ああ、うるさいのが来た

夏子 すごいよ。すごいニュースだよ

風花 何、何？

夏子 聞きたい？　聞きたいよね。聞きたいんだよね

蓮華 こいつうざい

夏子 うざいって言う方がうざいんだよ

百恵 違うよ

光 うざいな、こいつ

風花 夏子、元気だよね

夏子 どうしよっかなー。言っちゃおうかなー

百恵 早く言え

光 言いたいんでしょ？　早く言いなさい

蓮華 バカじゃないの？

夏子 バカって言う方がバカなんです

光 どっちもバカだよ

蓮華 何で私がバカなの？

光 だって蓮華バカでしょ

蓮華 言っていいことと悪いことがあるでしょ

光 バカにバカって言って何が悪いの

蓮華 ひどい

夏子 はいはい、そこ、喧嘩しないで。静かにして、ちゃんと私の話聞いてね

光 何だお前、偉そうに

蓮華 しばくぞ

百恵 早く言え

夏子 分かったよ。あのね、私たち、修学旅行に行くんだって

みんな えー

風花 修学旅行って何？

光 風花、修学旅行知らないの？　修学旅行っていうのは

夏子 修学旅行とは、学問を修めた者が行く旅行

蓮華 っていう都市伝説

百恵 ここ都市じゃないでしょ

蓮華 でも伝説でしょ

光 昔はあったんでしょ。学校でみんなで旅行に行くの

蓮華 いいなあ、旅行

光 蓮華、成績悪いから行けないんじゃないの？

蓮華 マジで？

風花 成績悪いと行けないの？

夏子 だって学問修めてないでしょ

蓮華 修める、私、学問

百恵 手遅れじゃない？

蓮華 手遅れじゃない

光 で、どこに行くの？

夏子 知らない

光 そこが大事なとこでしょ

蓮華 使えない

百恵 役立たず

夏子 仕方ないでしょ。職員室でちらっと聞こえただけなんだから

光 ちゃんと聞いてきてよ

夏子 いや、とりあえずみんなに伝えなきゃいけないでしょ

蓮華 使えない

百恵 役立たず

夏子 みんな、ひどくない？

光 どこに行くんだろうね

風花 旅行ってことは町から出るってこと？

百恵 そりゃそうでしょ

風花 行きたい

蓮華 どうやって行くの？

光 バス？

蓮華 バスって見たことないよ

風花 トラックは走ってるけど

蓮華 じゃあトラックか

光 トラックの荷台に乗るの？

百恵 夜逃げか

夏子 電車だよ、きっと

蓮華 電車って路面電車？

夏子 路面電車は同じとこぐるぐる回ってるだけでしょ

蓮華 じゃあ線路から外れて走ってけばいいでしょ

夏子 それじゃ脱線事故になるでしょ

光 遠くに行く電車でしょ

風花 乗ったことない

蓮華 ていうか見たことない

光 どこに行くんだろうね

夏子 楽しみ

 光たち、ざわざわしながら退場。

 歩・満・蛍、登場。

歩 修学旅行は行ったけどさ、結局、町の温泉だったね

満 温泉の近くの研修施設で一泊二日

蛍 旅行じゃなかったね

歩 あれ、何か意味あったの？

蛍 みんなで泊まるの楽しかったよ。枕投げもしたし、温泉も入ったし

歩 温泉なんか珍しくないでしょ

蛍 え？　私あんまり入ったことない

満 私初めて入った

歩 私週一で入ってる

満 あれすごいね。肌がつるつるになるね

蛍 美人の湯って言われてるんでしょ

歩 でもあれは旅行じゃないでしょ

満 じゃあ何？

蛍 お泊り会

歩 何で遠くに行く電車には乗れないの？

満 お金がかかるから

蛍 そもそも子供って乗れないんじゃないの？

満 そんなことないよ。私乗ったもん

歩 満ばっかりずるい

満 引っ越しの時に乗ったんだよ

歩 どうだった？

満 速かった。景色が流れてくの

歩 いいな

蛍 その時だけ？

満 そうだよ。専用のカードを借りて

蛍 私達のカードじゃ乗れないよね

歩 このカードってさ、便利だけど何か嫌

蛍 そう？　いいじゃん。電話もできるし、メッセージも送れるし、買い物もできるし、何でもできるよ

満 ていうかこれないと何にもできないよね

歩 まあね

蛍 子供じゃ買えない物とか、入れない店とか、そういうのいっぱいあるでしょ

満 だから仕方ないんじゃない？

歩 そうなのかな

 歩・満・蛍、歌う。

 music;「心細い時にうたう歌」タテタカコ

 寂しい　寂しい

 僕だけ　寂しい

 身体いっぱい匂わして暮らしてた

 苦しい　苦しい

 僕だけ　苦しい

 世界一の不幸を背負っていた

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

【４】

蛍 あそこに天の川が流れてて、特に大きい星が夏の大三角。あれがデネブで、あれがアルタイル、こっちがベガ

歩 ふーん

蛍 ベガとアルタイルが織姫と彦星なんだよ

歩 そうなんだ

蛍 天の川のせいで年に一回しか会えないんだって

満 どうやって会うの？

蛍 カササギが橋を作るんじゃなかったかな

満 カササギ

蛍 あと、天の川は牛乳の川だって言われるよね

歩 牛乳？

蛍 うん、牛乳

歩 あれ全部牛乳だったらすごい量だね

蛍 そうだね

歩 よし、休憩終わり。行こう

満 疲れた

歩 頑張りなよ

満 もう無理だって

蛍 疲れたね

歩 休憩ばっかりだと朝になるよ

満 どこまで行くの？

歩 だから海までだって言ったでしょ

満 無理だって

歩 無理だって言うから無理なんだよ

満 無理なものは最初から無理だよ

蛍 確かに無謀だと思うよ

歩 嫌なら帰ったら？

満 は？

歩 嫌なら帰ったらいいよ

満 歩が来いって言ったんでしょ

歩 別に頼んだわけじゃないし

満 蛍、帰ろ

蛍 満

満 何でこんなこと言われてついていかなきゃいけないの？

蛍 冷静にならなきゃ

満 私は冷静だよ

蛍 歩も言い方考えな

歩 でも私、間違ってない

満 そういう言い方が気に食わないの

歩 満が気に食うかどうかなんか知らない

満 ふざけんな

歩 もういい。一人で行く

 満、退場。

蛍 今のは歩が悪い

歩 でも私、間違ってない

蛍 間違ってなくても歩が悪い

歩 何で？

蛍 満の気持ち考えたの？

歩 考えたよ

蛍 考えが足りないんだよ。もっとよく考えて

 蛍、退場。

 歩は「心細い時にうたう歌」を歌う。

 歩、退場。

【５】

 満・カササギ、登場。

カササギ 帰るの？

満 何か文句あるの？

カササギ 文句はないけど

満 あーもう、むかつく

カササギ 怒ってるね

満 マジむかつく。ねえ、マジでむかつくんだけど

カササギ 私に怒ってもしょうがないでしょ

満 別にあんたに怒ってるわけじゃない

カササギ 行かなくていいの？

満 どこに？

カササギ お母さんのお墓。行きたかったんでしょ？

満 別にいつでも行けるよ

カササギ それ嘘。いつでも行けるわけじゃないでしょ

満 その気になれば行ける

カササギ 今日みたいに？

満 ……

カササギ 歩について行ったらお母さんのお墓に行けると思ったんでしょ？

満 あいつと一緒には行きたくない

カササギ でも歩がいなかったら行こうとは思わなかったでしょ

満 そんなことない

カササギ それも嘘でしょ

満 嘘じゃないって。何でそんな嘘つかなきゃいけないの？

カササギ 認めたくないからでしょ

満 何でこんなにうまくいかないの？　自分の親の墓参りもできないっておかしいでしょ。お墓なんかいらない。お参りできないお墓だったらない方がいい。お墓も嫌い。葬式も嫌い。全部嫌い。学校も嫌い。勉強も嫌い。クラスメイトも嫌い。特にうるさい男子が嫌い。いい人ぶってる女子も嫌い。この町も嫌い。山も田んぼも虫も嫌い

カササギ で、自分も嫌いなの？

満 当たり前でしょ

カササギ 大変だね

 蛍、登場。

 満を写真に撮る。

 カササギ、退場。

蛍 深夜にたたずむ女子

満 勝手に写真撮らないでよ

蛍 誰と喋ってたの？

満 友達

蛍 友達？　どこ？

満 もういない

蛍 どういうこと？

満 私の頭の中にいる、架空の友達

蛍 架空の友達

満 頭のおかしい人だと思ったでしょ

蛍 思ってないよ

満 どうせリアルで友達いないから

蛍 え？　私、友達じゃないの？

満 友達、だけど

蛍 ほら、友達いるじゃん。歩も友達でしょ

満 歩は友達じゃない

蛍 そんなことないよ

満 何でこっちに来たの？

蛍 何が？

満 歩の方に行くんだと思った

蛍 歩はいつでも見つけられるから

満 すごいな

蛍 だからまず満を捜しに来た

満 ふーん

蛍 そういう時はまずありがとうって言うんだよ

満 ありがとう

蛍 どういうたしまして。じゃあ行くよ

満 どこに？

蛍 歩のとこ

満 何で？

蛍 仲直りするでしょ？

満 勝手に決めないでよ

蛍 まあまあ。ほら、行こう

【６】

 歩、登場。

歩 天の川が流れてる。上にも、下にも。本当は海に行きたいわけじゃない。本当は町から出たいわけじゃない。天の川のほとりを歩きたいだけ。私と同じ名前の川と一緒に歩きたいだけ。空と地面がひっくり返れば星の海だって歩ける気がする。本当は一緒に歩きたい。何でひどいこと言っちゃうんだろう。素直になれない自分が嫌い。ごめんとかありがとうとか、どうやったら言えるんだろう

 歩、歌う。

 music;「心細い時にうたう歌」タテタカコ

 寂しい　寂しい

 僕だけ　寂しい

 身体いっぱい匂わして暮らしてた

 苦しい　苦しい

 僕だけ　苦しい

 世界一の不幸を背負っていた

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

 心細い時にうたう歌

【９】

 満・蛍、登場。

蛍 歩、大丈夫？

歩 うん。満

満 何？

歩 ごめん

満 どしたの？

歩 本当は一緒に来てくれて嬉しかった。ひどいこと言ってごめん

満 いいよ

蛍 歩、素直になったね

歩 そうかな

満 私も、本当は一緒に行きたかった、ような気がするけどそうでないかもしれない

蛍 満はちょっと素直になったんかな？

満 私、お母さんのお墓参りに行きたかった

歩 うん

満 でも、もういい

歩 え？

満 お墓なんてあってもなくても、別に何も変わらないでしょ。家族でたまにお墓参りに行ければいいんじゃないかな

蛍 そう

歩 牛乳の川が流れてる

満 うん

歩 織姫と彦星は会えたのかな

満 会えたよ、きっと

蛍 そうだといいね

満 歩、どうするの？　これから

歩 帰ろっか

蛍 いいの？

歩 うん

満 ん、じゃあ帰ろ

 歩・満・蛍、退場。

 おわり。

【参考】

・「夜は短し歩けよ乙女」（小説）森見登美彦

・「心細い時にうたう歌」（楽曲）タテタカコ

・七夕の伝説